

2017年、世界最高峰の演劇の祭典「アヴィニョン演劇祭」のオープニングを飾り、絶賛された

宮城聡×SPACの代表作『アンティゴネ』

「Japan 2019」公式企画としてこの秋ニューヨークで再演決定！

向春の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACは、今月からニューヨーク・ワシントンを中心会場にスタートする日本博「Japan 2019」の公式企画として招聘を受け、代表作『アンティゴネ』を再演することになりました。

本作は2017年、世界最高峰の演劇の祭典「アヴィニョン演劇祭」のオープニング作品として、法王庁中庭で上演。舞台に水を張る創意に富んだ装置や、俳優の影を高さ30mの法王庁の壁面に映し出す仕掛け、そして人を二種類に分けない王女アンティゴネの思想に日本人の死生観を重ねた演出は、大きな反響を呼びました。

このたびは、かつての軍事施設であり、現在は世界の名だたるアーティストがライブやインスタレーション等を行う、ニューヨークのパーク・アヴェニュー・アーモリーが会場となります。ドーム型の高い天井と広々とした空間を誇る「ドリル・ホール」に、アヴィニョン法王庁中庭での上演時とほぼ同じ規模の水を張った舞台、1,000席の客席を設え、壁面に俳優の影を映し出す演出も再現します。

初演から2年、世界の分断と言われる状況はさらに進みました。「人を敵・味方に区別しない」アンティゴネの思想は、社会の分断が顕在化するアメリカの観客にどう受け止められるのでしょうか。宮城とSPACの新たな挑戦にどうぞご注目ください。

アンティゴネ

構成・演出：宮城聡 / 作：ソポクレス / 訳：柳沼重剛 / 音楽：棚川寛子 / 空間構成：木津潤平

衣裳デザイン：高橋佳代 / 照明デザイン：大迫浩二 / ヘアメイク：梶田キョウコ

出演：SPAC

■公演日：[一般公演] 2019年9月25日、26日、27日、28日、29日、10月2日、3日、4日、5日、6日(6日は1日2公演)

[鑑賞事業公演] 2019年10月1日

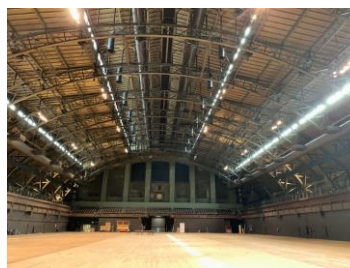
■公演数：[一般公演] 全11回 [鑑賞事業公演] 全1回

■会場：パーク・アヴェニュー・アーモリー <http://www.armoryonpark.org/>

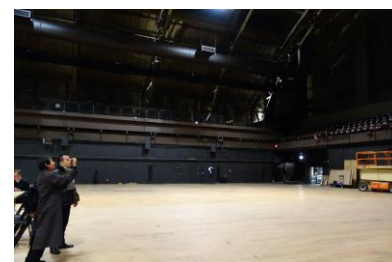
主催：国際交流基金、SPAC-静岡県舞台芸術センター、パーク・アヴェニュー・アーモリー



2017年 アヴィニョン法王庁中庭での上演 ©Christophe Raynaud de Lage



パーク・アヴェニュー・アーモリー「ドリル・ホール」



『アンティゴネ』ニューヨーク公演に関するお問い合わせや取材のご希望は、

「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当 内田」までご連絡下さい。

Tel:054-203-5730 / Fax:054-203-5732 / E-mail:uchida@spac.or.jp